

10th Annual Meeting of Cervical Spine Research Society-Asia
Pacific Section 開催に係る運営寄附金募金要項

1. 募金形式 協賛寄附金
2. 募金期間 2018年10月15日(月)から2019年3月16日(土)まで
3. 募金金額 個人 1口 金2万円
法人 1口 金5万円
【できましたら、2口以上の寄付をお願い致します。】
4. 募金責任者
公益財団法人群馬健康医学振興会 理事長 鈴木 忠
(担当：事務局長 小林時雄)
5. 寄附申込方法
寄附申込書(別紙又は財団ホームページよりダウンロード)に必要な事項をご記入のうえ、メール、ファックス又は郵送で返信願います。
6. 寄附金振込先

東和銀行：前橋北支店(店番012) 普通預金 口座番号 3410581

名義人：ザイ) グンマケンコウイガクシンコウカイキフキングチ

公益財団法人群馬健康医学振興会寄附金口

リジチョウ スズキ タダシ

理事長 鈴木 忠

事務経費：寄附金の5%相当額は事務経費として、公益財団法人群馬健康医学振興会に帰属します。

7. 寄附金控除又は損金算入
公益財団法人群馬健康医学振興会は、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」第4条の規定に基づき認定された公益財団法人であり、「租税特別措置法施行令」第26条の28の2第1項規定する要件を満たした公益財団法人のため、本財団に対する寄附金は寄附金控除又は損金算入の対象となります。なお、詳細は別添「寄附金を支出したとき」をご参照ください。
 - 1) 個人：寄附金控除(所得控除)又は寄附金特別控除(税額控除)
入金的都度領収書を郵送し、確定申告用の証明書を翌年1月頃郵送致します
 - 2) 法人：損金算入
入金的都度領収書等必要書類を郵送致します。
8. 事務局
名称：公益財団法人群馬健康医学振興会
住所：〒371-8511 群馬県前橋市昭和町3-39-22
電話：027-220-7873 Fax：027-235-1470
メール：gfmhs-jimu@ml.gunma-u.ac.jp

平成 30 年 9 月 吉日

(法人名)
(代表者役職名・氏名) 様

10th. Annual Meeting of Cervical Spine Research
Society-Asia Pacific Section President of CSRS-
AP

Takachika Shimizu, MD, Ph

D

国際頌椎学会アジア太平洋部門 会長 清水敬

親

榛名荘病院群馬脊椎脊髄病センター センター

長

一般財団法人榛名荘理事

10th. Annual Meeting of Cervical Spine Research Society-Asia
Pacific Section 運営寄附金募集趣意書

謹啓 初秋の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私儀、2019年3月14日(木)～16日(土)の3日間、パシフィコ横浜会議センターにおきまして、10th. Annual Meeting of Cervical Spine Research Society- Asia Pacific Section (略称: CSRS-AP)を大会長として開催させていただくこととなり、計画と運営に関する準備を進めております。国際学会の主催を群馬県の一医療施設の勤務医(群大医学部卒)が担当させていただくことは大変名誉なことだと気を引き締めております。

1973年に米国で発足した Cervical Spine Research Society (CSRS)は、1985年に姉妹学会として設立されたヨーロッパ部門(CSRS-ES)とともに、頌椎外科分野における世界最高峰の学会として脊椎外科発展に寄与してきました。このCSRS発展の歴史の中で、日本人脊椎外科医の発表演題は質・量ともに年々重要性を帯び、もはや日本人脊椎外科医の存在は学術集会・学会組織の主要な部分を占めると言っても過言ではない状況になって参りました。そのような背景のなかで、アジア・太平洋地域にもう一つの姉妹学会を日本人主導で立ち上げるべき、との気運が高まったのは自然な流れであったかも知れません。

本会(CSRSアジア太平洋部門)は、2008年に第1回学術集会が神戸で開催されました。その後日本と韓国を主軸に開催され、第5回はベトナム、第9回はインドで開催されいづれも大成功を収め、本格的な全アジア太平洋地域の学会に成長しつつあります。毎年、アジア諸国のみならず、欧米、中近東も含め、約400名の参加者を集めております。本学会への注目度・重要性が急速に高まる中、今後は本会がアジア太平洋諸国における頌椎外科分野の新しい歴史を開き、その先進性を世界に示すことが使命となります。このことを念頭に置きながらも横

浜での第10回学術集会は決して華美になることなく、しかし記念すべき本学会創設10年の節目にふさわしい質の高い学術的交流の場を提供することに心血を注ぐ所存です。加えて、地域・国・民族の間に存在する微妙な緊張関係を緩和し乗り越えるためにも、“friendship”の醸成に意を尽くしたいと考えております。CSRS-APの歴史における最初の10年間の締めくくりとして、そして新たな10年間への橋渡しとして、第10回記念大会（10th. Anniversary Meeting）を日本で開催することは大変意義ある事であり、名誉と責任を実感するものであります。

アジア太平洋地域の頸椎外科のレベルは確実に向上し、むしろ欧米に対し誇れる業績も多々でてきております。特に今後の発展を担うこの地域の若い脊椎外科医に向け、是非とも自らの能力に気付き、自信を持ち、そしてさらなる向上心をかき立てていただきたいと言う気持ちを込めて『覚醒、unlocking potential』を今回のテーマといたしました。

本来、このような学術集会は出席者の参会費で賄うべきところではございますが、特に本学会はアジア太平洋地域という各国の経済格差も大きな地域での学会である事から、参加費やメンバーシップ維持費を非常に低額にせざるを得ないという宿命も背負っております。したがって本学会の開催に要する費用の全てを会員の参加費と若干の準備金で賄うことは困難で、大変苦慮しているところがございます。国際学会としての円滑な運営を図るためにも皆様からのご支援・ご援助が是非とも欠かせない状況であります。

つきましては、本学会開催の趣旨をご理解いただきまして、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。甚だ厳しい社会情勢の中、誠に恐縮ではございますが、何卒ご高配を賜りますようお願い申し上げます。本来であれば直接お目にかかりお願い申し上げますべきところ、書中にて失礼いたしますことをご容赦頂ければ幸いです。

なお、本学術集会は、公益財団法人群馬健康医学振興会の「学会・研修会等に対する助成事業」に選定されたため寄附金募集は群馬健康医学振興会が行い、寄附金は減税措置（個人の場合は所得控除又は税額控除、法人の場合は損金算入）の対象となります。

また、寄附金の5%相当額は事務経費として、公益財団法人群馬健康医学振興会に帰属します。

つきましては、寄附金募集要項及び寄附金申込書を同封致しますのでご寄附方宜しくお願い申し上げます。

敬白